

# 住民の声聞かず、突然の「廃止」発表は、納得できません!



## 大宮消防出張所を存続させ、さらに充実を求めましょう

**耐震改修予算が  
計上され、  
実施設計までしながら  
突如「廃止」に?!**



大宮消防出張所の廃止方針に、地域住民から不安の声が出ています。そもそも2013年(平成25年)2月の市議会予算委員会で市当局は「平成25年度一般会計予算で消防施設整備に、大宮消防出張所の耐震改修費用を計上」と説明していました。

そして、翌年10月2日の市議会決算委員会では「大宮消防出張所の耐震改修に伴う実施設計等に要した経費を支出した」と消防総務部長が説明しました。

ところが、今年3月の市議会予算委員会で、自民党委員が「大宮消防出張所がなくなると聞いた

が」と質問。これに消防局長が「閉鎖する計画」との答弁を行いました。

**京都市は、住民説明会を開き、  
住民の不安や疑問に答えよ!**

関係6学区の住民の安全・安心にかかわる重大事を、不安を覚え、疑問に思っている住民に対して、まともな説明の場を設けようとし、京都市の態度は納得できません。

出張所が担当する桃菌学区の自治連合会関係者や各学区の防災訓練の場などに短時間の事情説明をしたことをもって「説明会はおこなった」との当局の言い分は決して通

用しません。

もともと耐震改修を行う計画を立てていたものを、住民への説明と納得もなしに、突然「閉鎖します」では、とうてい納得できるものではありません。

京都市も消防局も大宮出張所の必要性・重要性を十分認識していたからこそ、耐震改修の方針を決めたはずです。

住民の意見や疑問に耳を傾けるための時間をとった説明会を、桃菌学区のみならず、大宮出張所の担当地域である、西陣、成逸、乾隆、嘉楽、正親の全地域住民を対象に開くべきです。



写真は、西陣学区の三上路地(上)、現在の大宮消防出張所の外観(下)

政治革新の道しるべ、  
真実つたえ希望はこぶ

**しん 赤旗**  
日刊●月 3497円  
日曜版●月 823円



**上京民報**

2016年11月 発行  
日本共産党北地区委員会  
電話:432-3261  
FAX:441-4968